

## 富士山と名残の紅葉？を 九鬼山～御前山～神楽山

実施日 2016年11月26日(土)  
 天候 晴れ  
 リーダー 白石 恵美子  
 参加者 渋谷京子、遠井謙策、中村友子、石原勝正、小名秀鋭、佐藤政司、瀧澤きよの、児玉章、白石恵美子 計9名  
 費用 交通費 1,466円(高尾起算)  
 タイム 禾生駅(8:55)登山道入口(9:30) 弥生峠(10:30~10:40)九鬼山(11:10~11:40)札金峠(12:50)馬立山(13:40~13:50)沢井沢ノ頭(13:35~13:45)御前山(14:50~15:00)神楽山(15:15~15:25)猿橋駅(16:00)  
 行動時間 7時間5分  
 実働時間 5時間45分

富士急行線の禾生駅から杉山新道登山口までの道を間違え、20分ほどロスをした。正しい道に戻り、落合橋を渡り、レンガ造りの落合水路橋をくぐり、「九鬼山登山口」の標識を見つけホッとす。



2日前に東京でも雪が降り、11月に雪が降ったのは54年ぶりだ。そう、登り始めから雪が結構積もっており、黄色い落ち葉と

雪のコラボが美しい。

杉山新道が1号路と2号路に分かれるので、左の1号路を行った(すみません、多分)。最初は比較的緩やかな登りだが弥生峠の手前辺りから急登になる。雪の上にカラマツの葉が散りばめられていたので、カラマツ林だとわかった。

弥生峠からは傾斜も緩やかで明るい。主稜線上の小さなピークの久美山山頂

から左右に道が分かれ、右の道は鈴が音峠方面への縦走路で、九鬼山の山頂へは左の道を登り、富士見平に出る。勇壮な雪



化粧をした富士山が見られた。

尾根筋を行くと間もなく九鬼山の山頂に着いた。山頂からは富士山は見えないが、意外と広く、奥多摩の山並み、小金



沢連嶺などが見え、360度のパノラマとまでは行かないまでも、眺望はすばらしい。

ここで早めの昼食を取り、札金峠

方面へ下山を始める。山頂直下はかなり急で、雪もあり、滑りやすかったため、必要と思う人のみアイゼンを着けた。所々にトラロープも張られている。急下降が終わると鞍部に着く。そこで真っ直ぐの道と「馬立山下山」と言う標識のある左に行く道があり、下山ではないだろうと少しだけ真っ直ぐ進んだがやはり違うのではないかと戻って左の道に行く。後でヤマレコを見たら、「まどわしの分岐点(勝手に命名)」と書いている人がいて、やはり迷いやすい分岐だったのだとガッテン。

ザレた急斜面をトラバースし、尾根を行くと広場のような紺屋休場に出る。更に下ると札金峠に出て、急登を経て馬立山に着く。更に進み、沢井沢の頭を経て、行き着いた御前山の山頂は岩場だ。道志山塊の展望がすばらしい。そこから15分程で次のピーク、神



楽山へ。神楽山の山頂はケーブルテレビのアンテナが設置され、狭く雰囲気もない。

ここから猿橋駅へ向かって下山。

眼下に町が見えてきて、「ああ、今日のプチ縦走のゴールももうすぐだ！」

サポートして下さった皆さん、お疲れ様!ありがとうございました。また、共に歩いて頂ければ嬉しいです。

(記・白石 恵美子)  
(写真提供・石原 勝正)